

何でも読もう会

書物名	『舟を編む』 三浦しをん	開催 日時	2021.12.8	推薦	宮原
巻・章	全編		青少年セ	出席者	7名
<p>女性ファッション雑誌『CLASSY.』に連載（2009/11～2011/7）。2011/9に単行本化。2012年、本屋大賞受賞作品。</p> <p>誰もが一冊は手元に置いているだろう国語辞書の編纂の物語だ。作者は辞書作りのオーソリティの岩波書店や小学館、辞書用の特殊紙製造の製紙会社などに入念に取材、辞書編纂がいかに大事業であるかを描いた。</p> <p>20数万語を収載する中型辞書の構想から完成まで十数年。社内を説得し、各分野の専門家の協力を取付け、一語一語を緻密に積み重ねていく、気の遠くなる仕事が愛情を持って語られている。</p> <p>特に、自国語の辞書の編纂は国家の威信をかけた国家的事業ととられがちな中で、日本では公的機関の編纂事業は皆無、私企業・私人がこつこつと努力を積み上げてきたとするくだりは全員が深い感動を覚えた。</p> <p>また、紙が極度にうすいのに裏が見えない、破れにくい、手触りがなめらかでめくって疲れない、そんな紙の開発の苦労も垣間見ることができ、議論が盛り上がった。</p>					